

1位 クレマチス各種



2位、トピックス
エキウム・ウィルドプレッティイほか



3位 カキツバタほか

植物多様性を知る・守る・伝える 筑波実験植物園

みごろの植物

第1067号 2026年5月1日 次号予定5/14



カラー版はこちらから

ホソバシヨリマの葉の柔らかな緑色が流れ沿いに広がっています。



今週のベスト3!

青い札が目印です

1位 クレマチス各種 早咲きの大輪や八重咲きのクレマチスが花盛りです。ハンショウヅルの仲間も見ごろです。

2位 地植えのエキウム・ウィルドプレッティイが咲き始めました！ユッカ・トレクレアナの白い大きな花序も迫力満点です。

3位 W13(水生植物)エリア アサザ、クロバナロウゲ、ヤナギトラノオ、コウホネなどが咲き、ハンゲショウが青々と育っています。



じゅもーく先生トピックス

2位 エキウム・ウィルドプレッティイ *Echium wildpretii* ムラサキ科

大西洋上のスペイン領カナリー諸島固有種。火山の標高1300-2000mの乾燥地に自生します。種子から2年間をかけて成長し開花します。高さ3mにも伸びることがあり、最大で約45000個の花が咲きます。開花後は枯れ、種子で命をつなぎます。特殊な環境に適応しているため栽培は困難で、日本ではめったに花を見ることができません。「宝石の塔(Tower of Jewels)」というニックネームを持ち、欧米のガーデンでも珍重されます。

今年は鉢植えの他に、一部の株を地植えにして越冬を試みました。つくばの冬は-5℃前後まで下がることもありますが、熱帯資源植物温室の壁近くに植栽し輻射熱を利用しました。雪が降ったのでどうなることかとひやひやしましたが、負けずに越冬してくれました。今年のエキウムの実験はうまくいったようです。

① アメリカシャクナゲ コンパイトウのような可愛らしいつぼみがたくさん！花が咲き始めました。

② ピットスポルム・ヘテロフィルム 小さい可愛らしい花からとても良い香りが漂っています。

③ ビートルデージー 花に黒い模様が入っているのが特徴で、名の通り、虫がついたように擬態しているそうです。

④ ブルーベル 青紫色のベル状の花がとても可憐です。

⑤ トチノキ 白い花序を上向きにつけています。

⑥ カキツバタ[NT] 紫色の花が水辺で素敵に咲いています。

⑦ ヒツジグサ 午後になると水面で小さな花が開きます。

⑧ タニウツギ 花の内側の色が薄く、外側が濃い特徴を持っています。

⑨ ヒトツバタゴ[VU] 白い花と新緑の美しさをぜひご覧ください。

⑩ マイヅルソウ 小さな花を咲かせています。果実は秋に真っ赤に色づきます。

⑪ トネハナヤスリ[NT] 利根川水系と大阪の淀川のヨシ原にのみ生育する、小さなシダ植物です。

⑫ ジャケツイバラ 迫力ある草姿！枝にはするどいトゲがあります。

クレマチス園公開



- A サバナ温室
- B 熱帯雨林温室
- C 水生植物温室
- D 熱帯資源植物温室
多目的温室
絶滅危惧植物温室



W 世界の生態区
H 生命を支える多様性区

配布中のぬりえ
1位 クレマチス
題材の見ごろ時期がずれる場合や
題材変更、配布休止の場合があります。
なくなり次第配布終了となります。

環境省レッドリストカテゴリ
危険度
[CR] 絶滅危惧IA類
[EN] 絶滅危惧IB類
[VU] 絶滅危惧II類
[NT] 準絶滅危惧



見ごろ期間の短いものもあります。ご了承ください。筑波実験植物園では、科の表示を「新エングラ体系」から「APG体系」へ変更しています。筑波実験植物園ホームページ <https://www.tbg.kahaku.go.jp/>



1位 琉球の植物各種



2位、トピックス ヒスイカズラ



3位 カカオ

植物多様性を知る・守る・伝える 筑波実験植物園

温室のみごろ植物

第1067号 2026年5月1日 次号予定5/14

今週のベスト3! 黄色い札が目印です

1位 多目的温室では、アカボシタツナミソウ、カラコンテリギ、タイワンリリソウなど、琉球列島に生きる貴重な植物を展示しています。

2位 ヒスイカズラ 翡翠色と流線形が優雅な花です。あちこちにつぼみが出ています。

3位 カカオ ラグビーボールのような形をした実が幹についています(幹生果:かんせいか、と呼ばれます)。



じゅもーく先生トピックス

2位 ヒスイカズラ *Strongylodon macrobotrys* マメ科

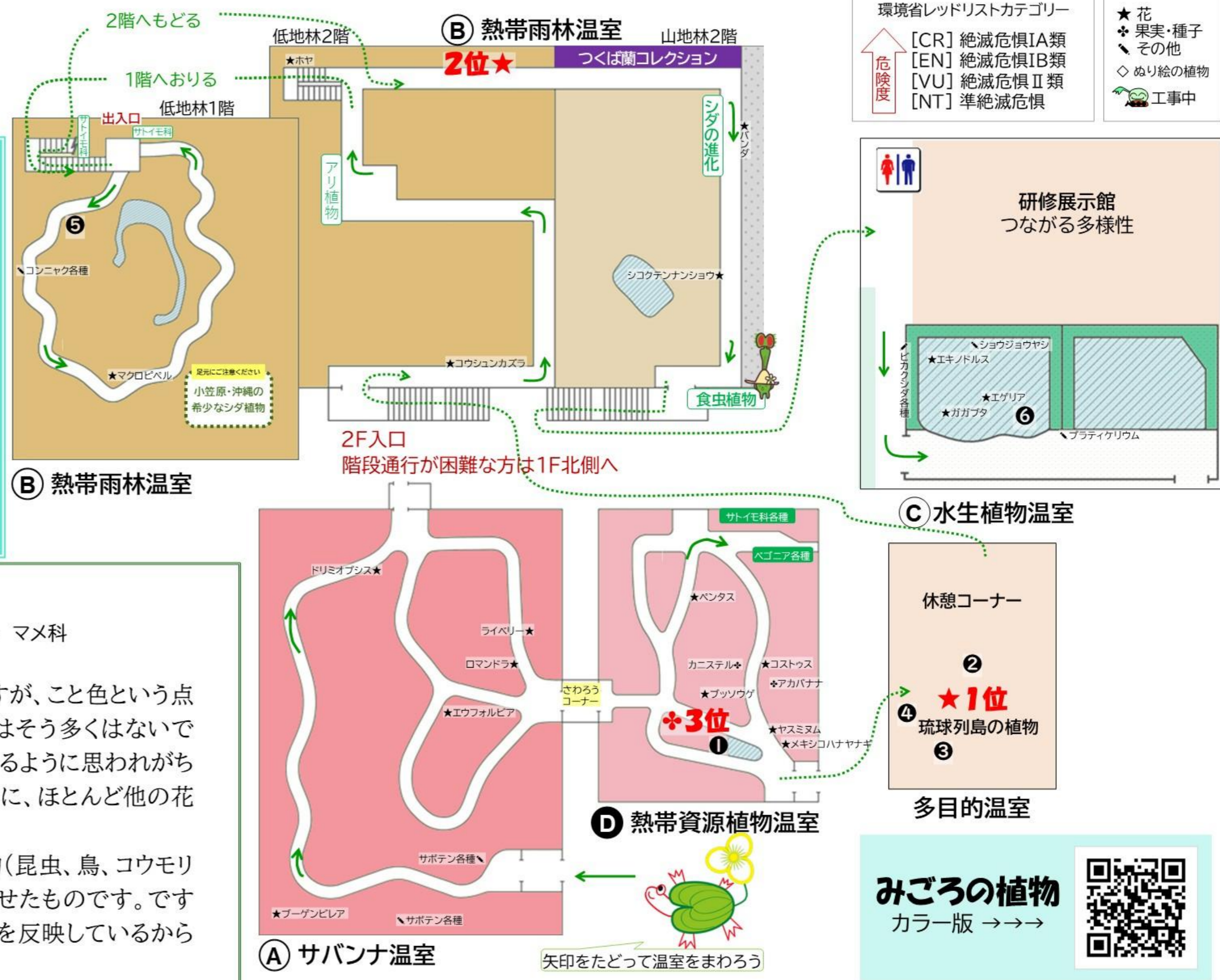
世界中に大きさや形など、奇抜な花は数多くありますが、こと色という点でこのヒスイカズラの奇抜さと美しさにかなうものはそう多くはないでしょう。花の色には赤、青、黄、白と何でもそろっているように思われがちですが、実際にはこのヒスイカズラのヒスイ色のように、ほとんど他の花に見られないものもあります。

花の色の多様性は、花粉を運んでくれる様々な動物(昆虫、鳥、コウモリなど)の目に止まるようにそれぞれの植物が進化させたものです。ですから花の色が変わっているのは、その変わった生態を反映しているからだと考えられます。

ヒスイカズラは、コウモリが花粉を運ぶとも、鳥が花粉を運ぶとも言われていますが、残念なことに原産地のフィリピンで絶滅に瀕していることもあり、自生地で花粉を運ぶ動物が何であるかはよく分かっていないようです。

筑波実験植物園 | 植物研究部 多様性解析・保全グループ 奥山雄大

見ごろ期間の短いものもあります。ご了承ください。



- ① レモン 'ポンデローザ' 大きい実がいっぱいになっています。
- ② ヤクシマスミレ 白い花弁に紫色の筋が目立ちます。
- ③ サダソウ 葉がプクっとしています。棒状の花序の小さな花もかわいいです。
- ④ ハナコミカンボク[EN] 小さな花が並んで咲いています。
- ⑤ リンコスティリス・レトウサ 白地に赤紫の斑があざやかなランの花が房状に咲いています。
- ⑥ オツテリア・コルダタ 花が水面に浮かぶように咲いています♪